

要望事項 (優先順位 5)

京都市広報板の板の改善

要 旨

広報板にポスター等を押しピンでとめますが、最近の板は固くて止め難く、外し難いため、特に高齢の市政協力委員の方は、爪を怪我されるなど、大変苦労されています。そのため、広報板の板の改善を要望いたします。

回 答

(総合企画局)

本市では、広報ポスターによる市政情報の発信を行うため、昭和44年度から各町内に広報板を設置し、市政協力委員の皆様の御協力の下、運営を行っているところです。

約50年間にわたり、市政情報をはじめ、自治会や町内会主催の運動会やお祭りなどの情報を掲示していただいております。地域に密着した広報媒体として定着していると考えております。

御要望をいただいた広報板の材質につきましては、平成26年度に、従来のベニヤ板が固く、押ピンが刺さりにくいという御意見を多数受けまして、ベニヤ板の材質を従来よりもやわらかい材質のものに改善するとともに、ベニヤ板以外のアルミ複合板も導入しております。

また、平成29年度からは、より一層地域の皆様に御活用いただくため、本市が発行する広報ポスターの掲示枚数を削減し、自治会や町内会などが発行する周知文書等の掲示枠を拡大するなど、運用面での見直しも行ったところです。

今後とも、効果的、効率的な広報発信に努めてまいりますので、御理解を賜りますよう、お願いいたします。